

内田洋行教育総合研究所と学研教育総合研究所が考える  
「思考力・判断力・表現力」を構成する能力のタキソノミー

2017年1月策定

能力	具体的な力
1.問題を 発見する力	(a) 日常生活から疑問を形成することができる (b) 課題として設定することができる (c) 解決に向けて仮説を構想することができる (d) 解決の方向性を決定し、解決方法を見つけることができる
2.情報を 収集する力	(a) 目的に応じて必要な情報を収集することができる (b) 信頼できる情報を収集することができる (c) 多様な情報源から収集することができる
3.情報を 分析する力	(a) 情報を比較したり、分類したり、関連付けたり、視点を変えたりすることができる (b) 情報の傾向を読み取ることができる (c) 情報を構造化することができる（内容の補足・精緻化、論理の構築、妥当性・信頼性の吟味）
4.情報を 活用する力	(a) 情報をもとに自分の考えを形成することができる (b) 情報をもとに判断・選択することができる
5.論理的に 思考・判断 する力	(a) 根拠に基づいて、意見や結論を導き出すことができる (b) 特色や相互の関連、意味を多角的に考えることができる (c) 既習の内容と結びつけ、統合的・発展的に考えることができる (d) 与えられた条件をもとに、より妥当な考えを作り出すことができる (e) 事実と意見を区別することができる
6.創造する力	(a) 物事を異なる見方で考えたり、経験や知識を探索的に組み合わせたりして、新しい考えを構築することができる (b) 思いや考えをもとに、意味や価値を新たに見いだすことができる
7.情報を 伝える力	(a) 自分の考えや意見を伝えることができる (b) 情報を正確に伝えることができる (c) 根拠や理由を明確にして伝えることができる (d) 相手・状況に応じて表現を工夫することができる (e) 伝えたい内容に応じて表現を工夫することができる